




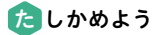













項目	観点	特色	具体例
<p>1 目標と内容の取り扱い</p>	<p>学習指導要領の趣旨をふまえて教科書の構成を工夫しているか。</p>	<p>① 学習指導要領の理念の実現に向け、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指しました。そのために、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、それらを活用できる思考力・判断力・表現力等を有することができるように工夫しました。また、自らの気づきや疑問をもとに問題をつくって解決する力を、数学の学習を通して育むことのできる教科書となるようにしました。</p>	<p>① 教科書全体</p>
	<p>生徒が主体的に数学的活動に取り組み、対話的で深い学びが実現できるよう工夫しているか。</p>	<p>① 巻頭に「この教科書の使い方」のページを設けて教科書の構成や使われているマークの意味などを詳しく示し、生徒の主体的な学習を促すようにしました。</p> <p>② 巻頭に、学習の進め方を説明するページ「数学の世界へようこそ」を設けました。問題発見・問題解決の流れを、「問題を見いだそう」「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよう」の4つのステップで説明し、数学的活動への取り組み方がわかるようにしました。</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>③ 各章の初めに、章の導入の活動を設けました。これから始まる学習への意欲や関心を高め、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしました。</p> <p>④ 各章の「活動」では、これまでの学習を生かして予想したり、調べたりして新たな概念や方法を見いだせるようにしました。また、考えを比べたり、話し合ったりする場面を積極的に取り入れ、対話的に学習できるようにしました。</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>⑤ 各章の「利用」の課題で、思考の段階に対応させて問題発見・問題解決の流れを示しました。クラスの仲間と協力して問題解決に取り組むとともに、解決の過程をふり返ったり、新たな問題を発見したりすることを通して、深い学びが実現するように工夫しました。</p>	<p>① この教科書の使い方：各学年 p.4～6</p> <p>② 数学の世界へようこそ：各学年 p.7～9</p> <p>③ 章の導入：各章の最初の見開き</p> <p>④ 各章の本文ページ</p> <p>⑤ 1年 p.59、60、2年 p.29、30、3年 p.36、37 など各章に1か所</p>
	<p>基礎的・基本的な知識や技能が確実に身につくよう配慮がされているか。</p>	<p>① 学習の導入部分は、既習事項との関連を重視した導入課題「考えよう」を設けました。小学校や前の学年までに学んだことをもとに、新たな学習への興味・関心をもって取り組めるように配慮しました。</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>② 本文の側注「思い出そう」に小学校や前の学年までに学んだ内容を記載したり、巻末に前の学年までの復習を設けたりして、必要に応じて学習をふり返りながら基礎的・基本的な知識、技能を確実に身につけられるようにしました。</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>③ 学習したことと同じように取り組む「たしかめ」や適用練習「Q」を補充する「プラス・ワン」、節末の「たしかめよう」、章末の「○章をふり返ろう」、巻末の「補充問題」など、繰り返し練習する機会を豊富に設けました。学んだことの確実な定着を、すべての生徒が図れるようにしました。</p> <p style="text-align: center;"> 1章をふり返ろう</p> <p style="text-align: center;"> 補充問題</p>	<p>① 考えよう：1年 p.16、218、2年 p.22、104、3年 p.86、106 ほか</p> <p>② 思い出そう：1年 p.24、2年 p.14、3年 p.47 ほか 小学校算数のふり返り：1年 p.280～285 1年の復習：2年 p.214～217 1・2年の復習：3年 p.254～259</p> <p>③ プラス・ワン：1年 p.25、29、31 ほか たしかめよう：各節末 ○章をふり返ろう：各章末 補充問題：各学年巻末</p>

項目	観点	特色	具体例
1 目標と内容の取り扱い	<p>見通しをもち、筋道を立てて考えるなど、数学的な思考力・判断力・表現力等が育つように配慮されているか。</p>	<p>① 導入課題「考えよう」で取り組んだことをもとに、学習のめあてを設定する流れにしました。指導者も生徒も見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮しました。 めあて</p> <p>② 各章の「活動」において、式や表、グラフなどを利用して調べたり、説明したりする場面を積極的に設けました。また、ほかの人の考えを読み取る活動を設け、図や式などを読み取ることで数学的な表現力を伸ばせるようにしました。また、複数の考え方や表し方を示して比較したり、考察したりする活動を取り入れ、数学的な思考力・判断力を高められるようにしました。</p> <p>③ 「たしかめ」や適用練習「Q」のほかに、「Q 判断しよう」「Q 伝えよう」を設け、学習した内容をもとに判断したり、数学の用語や図などを使ってほかの人に考えを伝えたりすることで、数学的な判断力・表現力を育むことができました。</p> <p style="text-align: center;">   </p> <p>④ 各章に設けた「利用」のページでは、問題発見・問題解決の流れに沿って取り組む課題を設けました。解決のしかたの見通しをもち、それをもとに論理的に考え、問題を解決できるようにしました。</p> <p>⑤ 各章末に「活用・探究」を設け、学習内容を活用したり、数学の世界をさらに探究したりする問題を通して、思考力を育むことができました。</p> <p>⑥ 巻頭の「ノートの作り方」では、ノート作りを通して数学的な思考や表現ができるよう、ノートの例とともにノート指導のポイントを示しました。</p> <p>⑦ 3学年を通してキャラクター（オー・リカイ）と6人の中学生が登場します。学習の主体である生徒にとって、キャラクターは思考を促す役割を担っています。一方、6人の中学生は考えを述べたり話し合ったりする仲間としての役割を担っています。</p>	<p>① 「考えよう」をもとに設定されためあて：1年 p.18、19 ほか</p> <p>② 関数のグラフを読み取り説明する活動：1年 p.157 ほか 式や図をもとに考え方を読み取る活動：1年 p.187、2年 p.106、114、132 ほか 式を読み取り説明する活動：3年 p.42 ほか 複数の考え方や表し方を比較・考察する活動：1年 p.84、177、223、2年 p.27、80、3年 p.22、96 ほか</p> <p>③ 「Q 判断しよう」：1年 p.30、77 ほか 「Q 伝えよう」：1年 p.39、133 ほか</p> <p>④ 問題発見・問題解決の流れに沿って取り組む利用の課題：1年 p.59、60、2年 p.29、30、3年 p.36、37 など全章に設定</p> <p>⑤ 活用・探究：章末ページ</p> <p>⑥ ノートの作り方：各学年 p.11</p> <p>⑦ キャラクターと中学生の登場：教科書全体</p>
	<p>学びに向かう力・人間性等の涵養が図れるように配慮されているか。</p>	<p>① 各学年巻頭のメッセージでは、考えることの楽しさ、数学を学ぶよさ、論理的な考え方に触れ、生徒が数学を学ぶことの楽しさや数学のよさを感じるきっかけとなるようにしました。</p> <p>② 各章の「活動」では、複数の生徒の考え方を提示し、それを読み取って比べることを通して多様な考えを認め、よりよく解決しようとする態度を養えるようにしました。</p> <p>③ 問題発見・問題解決の流れに沿って取り組む「利用」の課題では、問題を解決したあとに、その過程を振り返ったり、評価したりすることを促す問いを設けました。</p> <p>④ 各学年の終わりに、これまでの数学の学習を振り返り、今後の数学の学習につなげていくためのメッセージを掲載しました。</p>	<p>① 巻頭のメッセージ：各学年口絵①、②</p> <p>② 複数の生徒の考え方を提示した活動：1年 p.31、84、110、223 ほか</p> <p>③ 問題発見・問題解決の流れに沿って取り組む利用の課題：1年 p.59、60、2年 p.29、30、3年 p.36、37 など全章に設定</p> <p>④ 中学校〇年の学習を終えたみなさんへ：1年 p.264、2年：p.200、3年：p.236</p>

項目	観点	特色	具体例
<p>1 目標と内容の取り扱い</p>	<p>数学を学ぶことの楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えようとする態度が育つよう配慮がされているか。</p>	<p>①学習する課題の題材は身近なものから選択するとともに、すべての章に「利用」の活動を設け、学習したことを活用し、数学の有用性が感じられるようにしました。</p> <p>②読み物のページ「MATHFUL (マスフル)」を設け、数学を学ぶことの面白さや考えることの楽しさを味わえるようにしました。</p>  <p>③巻末の「課題学習」では、これまでに学んだ数学を生かして考える課題の例を示しました。この例をもとに、生徒が身のまわりや数学の学習で疑問に思ったことや知りたいと思ったことを課題に選び、取り組めるように配慮しました。</p> 	<p>①利用の活動：全章</p> <p>②MATHFUL：1年 p.41、91、270～279、2年 p.65、199、206～213、3年 p.55、76、101、113、174、234、242～253</p> <p>③課題学習：1年 p.266～269、2年 p.202～205、3年 p.238～241</p>
	<p>数学的な見方・考え方を働かせて数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察する力が養われるよう配慮されているか。</p>	<p>①巻頭の「数学の世界へようこそ」には、中学校数学の学習において働かせたい数学的な見方・考え方を、既習の内容を用いた具体例とともにまとめました。また、数学的活動のなかでそれらを働かせることができるよう、働かせ方の具体例も示しました。</p>  <p>②各章の「活動」では、数学的な見方・考え方を働かせて、数量や図形などの性質を見だすことができるよう、問い方やキャラクターの発言を工夫しました。</p> <p>③「学びにプラス (視点を増やそう)」では、学習をもとに別の考え方や逆の見方をする課題を通して統合的に考察する力や、既習の事項と結びつけてひろげる課題を通して発展的に考察する力を養えるようにしました。</p> 	<p>①数学の世界へようこそ：各学年 p.7～9</p> <p>②同じように考える：3年 p.177 考えやすい条件にする：1年 p.156、231、2年 p.58、3年 p.211 条件を変えて考える：2年 p.145、194 多面的に考える：3年 p.230 ほか</p> <p>③学びにプラス（視点を増やそう）：1年 p.177、2年 p.37、64、147、175、3年 p.43、157、201 ほか</p>
	<p>日常生活や社会と数学を関連させ、数学への興味や関心を高めることができるよう配慮されているか。</p>	<p>①章の導入や項の導入、利用の場面では、学習する課題の題材を身近なものから選択し、身のまわりの事象とのつながりを感じながら学習に取り組めるようにしました。</p> <p>②各領域に設けたコラム「社会にリンク」では、職業と数学との関わりをインタビュー形式でまとめました。このページを通して、社会生活と数学とのつながりを感じ、数学への興味・関心を高めることができるようにしました。</p>  <p>③「MATHFUL (マスフル)」では、数学の歴史や数学者、美術や音楽などの芸術分野との関わりを紹介するなど、数学と身のまわりの事象との関連に関心が高まる話題を豊富に取り上げました。</p>	<p>①章の導入：1年 p.12、13 ほか 各章の最初の見開き 項の導入：1年 p.18、2年 p.56、3年 p.200 ほか</p> <p>②社会にリンク：1年 p.65、163、200、263、2年 p.39、97、167、181、3年 p.77、135、175、235</p> <p>③MATHFUL：1年 p.41、91、270～279、2年 p.65、199、206～213、3年 p.55、76、101、113、174、234、242～253</p>

項目	観点	特色	具体例
1 目標と内容の取り扱い	<p>数学的な表現を用いて自分の考えを説明するための言語力や互いに伝え合うコミュニケーション能力が育つよう配慮がされているか。</p>	<p>①「活動」においては、数学的な表現を用いて互いの考えを伝え、理解し合う活動や説明する活動などを積極的に取り入れました。</p> <p>②「Q 伝えよう」には、数学の用語や図などを使って、ほかの人に考えを伝える問題を設けました。</p> <p>③各学年の1章1節の最後や「○章をふり返ろう」の最後の問題において、学習をふり返ることや学習したことよさに気づくことを促す質問を示しました。その後の学習においても同様に取り組むことで、数学的な表現を用いたコミュニケーション能力を伸ばすことができるようにしました。</p> <p>④「学びにプラス（数学の表現を使おう）」に、数学的な言語力を高めるための課題を取り入れました。</p>	<p>①考えを伝え、理解し合う活動や説明する活動：1年 p.92、93、256、257、2年 p.27、106、3年 p.24、85 ほか</p> <p>②「Q 伝えよう」：1年 p.39、133、147、205、217、2年 p.17、75、194、3年 p.64、91、111、115、179、189</p> <p>③学習をふり返ったり、学習したことよさに気づかせたりする質問：1年 p.17、62、2年 p.27、36、3年 p.24、40 ほか</p> <p>④学びにプラス（数学の表現を使おう）：1年 p.49、89、127</p>
	<p>自ら主体的に学ぶ意欲を高め、家庭での学習習慣が身につくよう配慮されているか。</p>	<p>①本文に「プラス・ワン」、章末に「力をのぼそう」「活用・探究」、巻末に「補充問題」「総合問題」などを設け、生徒一人ひとりが教科書を活用して学習に取り組めるようにしました。また、解答と解説を巻末に掲載し、自分で答えを確かめることができました。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>②生徒自身で取り組むページは、「この教科書の使い方」において明確に示しました。</p> <p>③家庭と学校との連携を重視し、「保護者のみなさまへ」を掲載しました。</p> <p>④ウェブサイトにシミュレーションや動画、資料などのコンテンツを用意し、学習内容の理解を深められるようにしました。該当の箇所に、ウェブマークと直接アクセスできる二次元コードをつけています。</p> <div style="text-align: right;">  </div>	<p>①プラス・ワン：各章の本文ページ 力をのぼそう、活用・探究：各章末 補充問題、総合問題：巻末</p> <p>②この教科書の使い方：各学年 p.4～6</p> <p>③保護者のみなさまへ：各学年 p.6</p> <p>④ウェブマークのあるページ：1年 p.49、64、65、104、159、163、190、191、193、195、200、203、207、214、215、236、242、263 2年 p.39、41、91、97、102、159、167、181、198、巻末1、巻末3 3年 p.26、28、77、127、135、150、152、156、157、175、177、178、184、195、199、222、223、235、246、253</p>
2 指導計画と指導上の配慮	<p>小中一貫教育に向けて、反復（スパイラル）学習など、既習内容との接続が円滑になるよう配慮されているか。また、高等学校での学習内容と円滑に接続できるよう配慮されているか。</p>	<p>①小学校算数の教科書と同じように、学習活動は課題を解決するための見通しをもち、(1)、(2)、…の小問のステップに沿って考えるようにしています。このことにより、算数から数学への移行がスムーズに行われるよう配慮しました。</p> <p>②導入課題「考えよう」では、既習内容の確認を重視し、新たな学習内容とのつながりを示しました。また、側注の「思い出そう」を利用して既習事項をふり返ったり、確認したりできるように工夫しました。</p> <p>③1年の巻末には「小学校算数のふり返り」を設け、算数で学習した内容を確認められるようにしました。</p> <p>④生徒の発達段階に応じて、文字の大きさを設定しました。1年は2年、3年よりも1段階大きい文字にし、小学校との接続に配慮しました。</p>	<p>①教科書全体</p> <p>②考えよう：1年 p.16、218、240、2年 p.70、104、170、3年 p.18、106 ほか 思い出そう：1年 p.24、2年 p.69、3年 p.145 ほか</p> <p>③小学校算数のふり返り：1年 p.280～285</p> <p>④教科書全体</p>


項目	観点	特色	具体例
2 指導計画と指導上の配慮		⑤3年の巻末には「 知りたい！高校ではどんな数学を学ぶのかな？ 」を設け、高等学校の学習内容を中学校の学習内容と関連づけて知ることができるようにしました。	⑤知りたい！高校ではどんな数学を学ぶのかな？：3年 p.276、277
	生徒の自己評価、相互評価など評価活動に対する配慮がされているか。	①生徒が互いに話し合ったり、意見を交換したりしながら学習を進める場面を例示しています。また、「 ノートの作り方 」や「 研究しよう 」においても、互いの考えを認めたり、評価し合う活動を示したりするなど、自己評価、相互評価の機会を大切にしました。 ②自分で取り組む課題には、すべて解答と解説を設けて、自己評価の習慣が身につくようにしました。 ③節末の「 たしかめよう 」には、解答のページと学習したページへのフィードバックを明示し、自己評価と定着のための取り組みを促しました。 ④章末の「 ○章をふり返ろう 」には、「 知識・技能 」「 思考・判断・表現 」「 主体的に学習に取り組む態度 」の3観点に基づいた評価を、生徒自身で行えるようにしました。 ⑤巻末には「 総合問題 」「 学習のまとめ 」を設け、繰り返し学習する機会が得られるようにしました。	①ノートの作り方：各学年 p.11 研究をしよう：各学年 p.10 ②解答と解説：各学年巻末 ③たしかめよう：1年 p.40 ほか各節末 ④○章をふり返ろう：1年 p.62 ほか各章末 ⑤総合問題：各学年巻末 学習のまとめ：各学年巻末
	生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が実現し、個別最適な学びが充実するよう配慮されているか。	①各章の「 プラス・ワン 」、章末の「 力をのばそう 」「 活用・探究 」、巻末の「 小学校算数のふり返り 」「 1年の復習 」「 1・2年の復習 」「 補充問題 」「 総合問題 」は、生徒一人ひとりが自分で取り組む課題であるとともに、少人数指導や習熟度別指導など生徒個人の理解度に応じた指導のために、活用することができるようにしました。 ②側注部分に具体例を示すことによって、個に応じてより確かな理解を図れるように工夫しました。図形の証明における定理などにおいては、図を示し定理の意味の理解を補助するとともに、証明の「 仮定 」「 結論 」についての理解を図れるように配慮しました。 ③学習の後に「 補充問題 」にも取り組むことができるよう、 ページの参照 を示しました。 ④節末の「 たしかめよう 」では、側注に生徒の理解を確認する質問を設けるとともに、学習したページへのフィードバックも示しました。 ⑤コラム「 社会にリンク 」や読み物「 MATHFUL (マスマフル) 」は、生徒の興味・関心に応じて自主的、自発的に学習との関わりを知り、学習をひろげることができるようにしました。 ⑥ウェブサイトにはシミュレーションや動画、資料などのコンテンツを用意し、生徒の興味・関心に応じて自主的、自発的にアクセスし、学習の理解を深められるようにしました。該当の課題には、ウェブマークをつけました。	①プラス・ワン：1年 p.25 ほか 力をのばそう：各章末 活用・探究：各章末 小学校算数のふり返り：1年巻末 1年の復習：2年巻末 1・2年の復習：3年巻末 補充問題：各学年巻末 総合問題：各学年巻末 ②具体例を示した側注：1年 p.29、2年 p.152 ほか ③補充問題への参照：1年 p.15 ほか ④たしかめよう：1年 p.40 ほか各節末 ⑤社会にリンク：1年 p.65、163、200、263、2年 p.39、97、167、181、3年 p.77、135、175、235 MATHFUL：1年 p.41、91、270～279、2年 p.65、199、206～213、3年 p.55、76、101、113、174、234、242～253 ⑥ウェブマーク：1年 p.49、64、65、104、159、163、190、191、193、195、200、203、207、214、215、236、242、263、2年 p.39、41、91、97、102、159、167、181、198、巻末1、巻末3、3年 p.26、28、77、127、135、150、152、156、157、175、177、178、184、195、199、222、223、235、246、253

項目	観点	特色	具体例
2 指導計画と指導上の配慮	多様な他者と協働することの重要性などを実感しながら理解し、協働的な学びが充実するよう配慮されているか。	<p>①各章の「活動」では、考えを比べたり、話し合ったりする場面を示し、生徒どうしが関わりあって学習を進めることができるようにしました。</p> <p>②問題発見・問題解決の流れに沿って取り組む利用の課題では、解決の見通しやその方法について意見を出し合い、考えていく場面などを例示しました。仲間と一緒に問題解決に取り組むことよさを感じ、その態度を養えるようにしました。</p>	<p>①各章の本文ページ</p> <p>②仲間と一緒に問題解決に取り組む課題；1年 p.186、187、2年 p.176、177、3年 p.167、168 ほか</p>
	情報処理能力を身につけ、社会の変化に対応する能力や態度を育てる配慮がされているか。	<p>①データの活用領域の課題においては、実際のデータを多く用いました。</p> <p>②データの活用領域における調査活動や研究レポートの例示において、情報を取り扱うために必要な知識や配慮事項について記述しました。</p> <p>③実社会においてデータの活用が役立つことを紹介するなど、データの活用に関する知識や技能の必要性を実感できるよう配慮しました。</p>	<p>①バスケットボール選手の身長：1年 p.248、249 都道府県別中学校数：1年 p.250 日本の男女別出生数：1年 p.253 自動車の燃費：1年 p.256 岐阜市の1月の各日の平均気温：2年 p.169 バレーボール選手の身長：2年 p.176 前橋市と萩市の月平均気温：2年 p.180 各地の3月の平均気温と桜の開花日：2年 p.209</p> <p>②研究をしよう：各学年 p.10</p> <p>③社会にリンク：1年 p.263、2年 p.181、3年 p.235 MATHFUL：(データを正しく活用するには) 1年 p.278、279、(国勢調査と標本調査) 3年 p.234</p>
	GIGA スクール構想の実現に向け、情報端末などの活用を通して、効果的な学習ができるよう配慮されているか。	<p>①デジタルデータの活用が有効な場面において、コンピュータを活用した指導ができるように配慮しました。3年のデータの活用領域においては、表計算ソフトウェアの具体的な操作の手順を紹介しました。</p> <p>②電卓を使った学習活動が有効な場面に、電卓マークをつけました。 </p> <p>③ウェブマークをつけた課題には、学習の理解を深めるためのシミュレーション、動画、資料などのコンテンツを用意しました。該当箇所の二次元コードから直接アクセスでき、無料でご利用いただけます。 </p> <p>④教師用指導書では、コンピュータを活用した指導について詳しく解説するとともに、教科書紙面に掲載した統計データを DVD-ROM に収録しています。</p> <p>⑤デジタル教材を使用した効果的な学習ができるよう、学習者用デジタル教科書、学習者用デジタル教材、指導者用デジタル教科書を販売しています。</p>	<p>①表計算ソフトウェアの操作の手順：3年 p.223</p> <p>②電卓マーク：1年 p.148、149、150、253、254、3年 p.46、60、61、72、73、106、125、212、215</p> <p>③ウェブマークをつけた課題： 1年 p.49、64、65、104、159、163、190、191、193、195、200、203、207、214、215、236、242、263、 2年 p.39、41、91、97、102、159、167、181、198、巻末1、巻末3、 3年 p.26、28、77、127、135、150、152、156、157、175、177、178、184、195、199、222、223、235、246、253</p>

項目	観点	特色	具体例
2 指導計画と指導上の配慮	他教科および総合的な学習の時間との関連について配慮されているか。	① 他教科や総合的な学習に関連する豊富な題材を扱いました。特に巻末の「 MATHFUL (マスフル) 」においては、各教科の内容のほか、数学史、情報教育の話題など、総合的な学習のテーマとしても有効な題材を数多く掲載しました。	① 外国語：3年 p.223、理科：1年 p.162、社会：1年 p.64、2年 p.60、保健体育：1年 p.59、2年 p.63、音楽：3年 p.253、美術：1年 p.201、3年 p.252、数学史：2年 p.210、情報教育：1年 p.278～279 ほか
	日本の伝統文化や行事、自然などを大切にする態度の育成についての配慮がされているか。	① 日本の伝統文化として、和算や折り紙など豊富な題材を取り上げています。また、日本の数学の歴史や数学者の紹介など、我が国の文化や自然科学の発展にも目を向けられるようにしました。 ② 自然を大切にする態度の育成につながるよう、題材の選択に配慮しました。	① 日本の伝統文化：1年 p.190、196、277、2年 p.166、3年 p.217、245、251 日本の数学の歴史・数学者：2年 p.65、207、3年 p.246、250 ② 琵琶湖の水位：1年 p.61、271、素数ゼミ：1年 p.270、フード・マイレージ：1年 p.273、筑波山：2年 p.58、富士山：2年 p.89、3年 p.211、212、平均気温と桜の開花：2年 p.209、ニホンカモシカ：3年 p.231、自然保護官の仕事：3年 p.235
	グローバル化する社会を見据え、国際理解を深めるための内容が適切に示されているか。また、外国語活動を取り入れたり、他国の歴史・文化などについて興味・関心をもてるよう配慮されているか。	① 教科書紙面に登場する生徒のイラストや写真には、外国をルーツにもつ人物を含め、 異文化理解 を促すようにしました。 ② 本文で扱っている用語などについて、外国語での表記のしかたを紹介したり、英語が語源となっている用語の意味を調べる活動を扱ったりしました。 ③ 「 MATHFUL (マスフル) 」の題材に、他国の歴史や文化も積極的に取り入れました。国際社会に目を向け、幅広く学んでいく態度を身につけられるようにしました。	① 教科書全体 ② 外国語に関連する活動 など：1年 p.14、91、2年 p.185、3年 p.47、101、223 ほか ③ 他国の歴史や文化など：1年 p.272、2年 p.210、3年 p.242、243 ほか
	キャリア教育に向けての配慮がされているか。	① 各領域に設けたコラム「 社会にリンク 」では、さまざまな職業の実在の人物が、自らの職業や社会生活と数学との関連を語るメッセージを掲載しました。数学が社会で生かされていることを実感し、学習意欲が高まるよう工夫しました。	① 社会にリンク：1年 p.65、163、200、263、2年 p.39、97、167、181、3年 p.77、135、175、235
	人権尊重や道徳教育との関連について配慮されているか。	① 男女の登場場面のバランスに偏りがないようにしたり、イラストで登場する生徒の服装は男女を区別しないようにしたりするなど、 多様な性のあり方 に配慮しました。 ② 友だちの考えをよく聞くことや友だちと協力して活動することを促すなど、 道徳教育 との関連に配慮しました。 ③ 数学の学習を通して、地域社会への参画や社会問題について考える課題を設け、 社会形成に寄与する態度 を養えるようにしました。	① 教科書全体 ② 道徳教育との関連：各学年 p.7、8、2年 p.182、183 ほか ③ 地域社会への参画や社会問題について考える課題：1年 p.100、101、211、2年 p.60、213、3年 p.218、219、230、233 ほか
	SDGs（持続可能な開発目標）の達成や環境保全に寄与する態度を育てたり、安全・防災への意識を高めたりできるよう配慮されているか。	① 生徒が数学の学習を通してSDGsについて考えていけるよう、SDGsと関連した題材を提示しました。	① 職業と数学との関わり（目標8）：3年 p.175、フード・マイレージ（目標2・13）：1年 p.173、選挙の投票率（目標16）：2年 p.60、点字（目標11）：2年 p.213 ほか

項目	観点	特色	具体例
		<p>②自然や環境の保全、安全・防災について、学習内容を適用して考える課題を設け、生命や自然を大切にする態度や安全・防災に取り組む態度を養えるようにしました。</p>	<p>②自動車の燃費：1年 p.256、257、平均気温の変化：2年 p.168、169 ソーラークッカー：3年 p.113、災害備蓄品：1年 p.119、自動車の停止距離：3年 p.124、125 ほか</p>
<p>3 内容の程度</p>	<p>本文の内容、程度は生徒の発達段階に適しているか。</p>	<p>①導入課題「考えよう」は、既習内容との関連を大切にしました。また、学習活動は、課題を解決するための見通しをもち、(1)、(2)、…の小問のステップに沿って考えることで、基礎的・基本的な知識・技能や、確かな概念形成と学力が身につくことができるように構成しました。</p> <p>②内容の系統性を重視するとともに、文字の大きさは生徒の発達段階に配慮しました。1年は2年、3年よりも1段階大きい文字にし、無理なく小学校と接続できるようにしました。</p>	<p>①、②教科書全体</p>
	<p>練習問題の内容、程度は適切か。</p>	<p>①節末の「たしかめよう」では、節で学んだことの理解を確かめることができましたようにしました。また、本文ページへのフィードバックも示しました。</p> <p>②章末には、学んだことを振り返る「○章をふり返ろう」を設けました。</p>	<p>①たしかめよう：1年 p.40、58 ほか各節末</p> <p>②○章をふり返ろう：各章末</p>
	<p>補充的、発展的内容の取り扱いは適切で、学力の向上に向けての配慮がされているか。</p>	<p>①適用練習「Q」の補充問題として、「プラス・ワン」を設けています。授業のなかで扱うほかに、家庭学習や個に応じた学習としても活用できます。</p> <p>②章末には「力をのぼそう」、巻末には「小学校算数のふり返し(1年)」「補充問題」「総合問題」などを設け、生徒の理解度や興味・関心に応じて取り組むことで学力の向上を図れるようにしました。</p> <p>③発展的な学習内容を、本文ページ内の側注や「学びにプラス」「MATHFUL」などで扱いました。</p> <p>④ウェブサイトにもシミュレーションや動画、資料などのコンテンツを用意し、学習内容の理解を深められるようにしました。該当箇所の二次元コードから直接アクセスでき、無料でご利用いただけます。</p> <p>⑤文部科学省が実施している「全国学力・学習状況調査」を分析し、課題があるとされている内容をていねいに扱うほか、章の学習の最後に「活用・探究」を設けるなど、学力向上に向けて内容を充実させました。</p>	<p>①プラス・ワン：1年 p.25、29 ほか</p> <p>②力をのぼそう：各章末、小学校算数のふり返し：1年 p.280～285、 補充問題：1年 p.286～293、2年 p.218～223、3年 p.260～269</p> <p>③発展的な学習内容：1年 p.83、173、189、237、2年 p.64、199、209、212、3年 p.43、55、67、105、132～133、134、174、190、194～195、242、276～277</p> <p>④ウェブマーク：1年 p.49、64、65、104、159、163、190、191、193、195、200、202、207、214、215、236、242、263、2年 p.39、41、91、97、102、159、167、181、198、 巻末1、巻末3、3年 p.26、28、77、127、132、133、135、150、152、156、157、175、177、178、184、195、199、222、223、235、246、253</p> <p>⑤〔数式〕割合を式で表すこと(1年 p.76～77) 〔図形〕証明を振り返り、発展的に考えること(2年 p.158) 〔関数〕グラフに表された事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること(2年 p.92～93)</p>

項目	観点	特色	具体例
3 内容の程度			〔データの活用〕不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること (2年 p.193～194)
	探究的な学習活動の取り扱いは工夫されているか。	<p>①学んだことをより深めたり調べたりするための問題として、本文に「学びにプラス」を設けました。</p> <p>②章末の「活用・探究」は、学んだことを活用したり、探究したりする課題です。提示された課題に取り組むだけでなく、自分で課題をつくって取り組むことによって、さらに探究的な学習を行えるようにしました。</p> <p>③「研究をしよう」「レポートを書こう」を3学年とも掲載し、探究的な学習活動への取り組み方や結果のまとめ方を示しました。</p> <p style="text-align: center;"><u>レポートを書こう</u></p> <p>④巻末の「課題学習」には、生徒が身のまわりや数学の学習で疑問に思ったことや知りたいと思ったことを選んで取り組めるような課題の例を示しました。</p>	<p>①学びにプラス：1年 p.17、37、49 ほか</p> <p>②活用・探究：各章末</p> <p>③研究をしよう：各学年 p.10 レポートを書こう：1年 p.99、259、2年 p.133、3年 p.100</p> <p>④課題学習：1年 p.266～269、2年 p.202～205、3年 p.238～241</p>
4 内容の組織・配列	系統性や領域全体のバランスに配慮されているか。	<p>①各学年の内容は各領域ともに学年間の系統性を重視するとともに、各学年においても特に領域間の構成を配慮しました。</p> <p>②巻末には小学校の内容も含めた既習内容のふり返り問題や高校で学ぶ内容を紹介するページを用意し、数学の系統性が途切れないよう学び直しの機会を豊富に用意しました。</p>	<p>①教科書全体</p> <p>②既習内容のふり返り： 巻末ページ 高校で学ぶ内容の紹介： 3年巻末ページ</p>
	学習の展開に配慮した組織・配列になっているか。	①各章は導入の活動から始まり、それに続く本文は、授業や生徒の思考の流れに沿った構成としました。生徒とともに学習内容を段階的に思考していくことで理解できる問いかけを順次設けました。	①教科書全体
	数学の興味・関心を高める教材が適切に扱われているか。	<p>①数学への興味・関心を高めるために、章の導入の活動や導入課題「考えよう」、そして利用の問題では生徒にとって身近な場面を多く取り上げ、親しみを感じられるようにしました。</p> <p>②コラム「社会にリンク」では、さまざまな職業や社会のしくみと数学との関連を示し、数学が社会で生かされていることへの興味・関心が高まるよう工夫しました。</p>	<p>①章の導入の活動：1年 p.12～13 考えよう：1年 p.174～175 利用の問題：1年 p.231～232 ほか</p> <p>②1年 p.65、163、200、263、 2年 p.39、97、167、181、 3年 p.77、135、175、235</p>
5 分量や時間	各領域の分量は、適切に配当されているか。	<p>①各領域の適正な配分をするとともに、基礎的・基本的な学力の確かな定着を図るために、必要な箇所にバランスよく時間配当をしました。</p> <p>②「Q」を補充する問題として、「プラス・ワン」を設けました。また、理解や定着のために、さらにくり返し練習が必要などころには、巻末に「補充問題」を設け、基礎的・基本的な内容についての十分な指導ができるようにしました。</p>	①、②教科書全体
	指導時数や生徒の発達段階に照らして、全体の分量は適切か。	<p>①各項の時数は、指導のねらいを明確にして、生徒が十分な理解を得られるように設定しました。</p> <p>②各学年ともに予備時数を確保し、無理のない指導計画を立てられるようにしました。</p>	①、②教科書全体
	練習問題などの量は適切か。	①「 たしかめ 」「 Q 」には、生徒が学習内容の確認・定着をするために適切な分量の問題を用意しました。	①～③教科書全体

項目	観点	特色	具体例
5 分量 や 時間		<p>②節末の「たしかめよう」は節の学習を確認するため、章末の「○章をふり返ろう」は章の学習をふり返るために、それぞれ適切な分量の問題を用意しました。</p> <p>③このほかにも、章末・巻末には、自分で取り組む課題などを用意しました。</p>	
	6 図 や 写真	<p>数学的活動や生徒の理解に資するよう、写真や図などが効果的に使われているか。</p> <p>資料は生徒に身近で正確なものを使用しているか。</p>	<p>①教科書全体</p> <p>②飛行機雲：1年 p.166 上毛かるた：1年 p.214 ほか</p> <p>③教科書全体</p> <p>①教科書全体</p>
7 表記 ・ 表現	用語・記号の取り上げ方は適切か。	<p>①用語・記号は初出時に太字で示し、ふりがなをふって読みやすくしました。</p> <p>②一般性を意識した正確な記述をするとともに、小学校や前の学年で学んだ用語・記号を必要に応じて側注に示し、くり返し確かめることができるようにしました。</p>	①、②教科書全体
	紙面構成や挿絵、写真などによる表現は適切か。	<p>①学習の流れが捉えやすくなるように紙面構成を工夫し、効果的な写真やイラストを配置しました。</p> <p>②問い番号などは、生徒がノートに書きやすいデザインにしました。</p> <p>③学習のめあてや重要事項のまとめを、はっきりとわかりやすく強調しました。</p> <p>④各項目の区切りを明確にし、誰にでもわかりやすいレイアウトにしました。</p>	①～④教科書全体
	文字の大きさや書体、行間などは適切か。	<p>①小学校や高等学校とのつながり、生徒の発達段階を考慮した文字の大きさ、行間の広さで記述しました。1年では使用する文字を大きくし、全学年にわたって文節改行し、読みやすくしました。</p> <p>②学習の流れが捉えやすくなるよう、導入の問題、学習のめあて、課題、問いかけ、まとめ、適用練習、側注などには適切な書体を使用しました。</p>	①、②教科書全体
	特別支援教育について配慮されているか。	<p>①特別支援教育の専門家の校閲を受け、ユニバーサルデザインの考え方で編集しました。</p> <p>②学習のめあてや重要事項のまとめをはっきりと示し、重点を理解しやすくしました。</p> <p>③各項目の区切りを明確にし、注目すべき箇所に視点を定めやすいレイアウトにしました。</p> <p>④重要な語句は途中で改行することのないよう文節改行をしました。</p> <p>⑤本文には、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しました。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>⑥弱視の生徒に対応し、その程度に合わせた数種類の拡大教科書の発行をしています。</p>	①～⑤教科書全体

項目	観点	特色	具体例
8 印刷・製本	読みやすく、鮮明に印刷されているか。製本は長期使用に適した使いやすさのものとなっているか。また、表紙や本文用紙の紙質に配慮されているか。	<p>①印刷は読みやすく鮮明に仕上げているとともに、色覚特性に配慮した4色刷りを有効に使用しました。すべての人にとって見やすい配色にしました。</p> <p>②見返し用紙を用い、また丈夫な糊を使用して、長期間の使用に耐える堅牢な製本にしました。</p> <p>③アジロ綴じで製本し、丈夫にしています。針金を使用していないため生徒にとって安全で、ページを開きやすく書き込みがしやすいように配慮しました。</p> <p>④表紙には丈夫な紙を使用し、さらに長期の使用に耐えられ、汚れにくい加工（PP貼加工）を施しました。また、名前を書く欄には、書きやすいように加工を施しました。</p> <p>⑤本文用紙の紙質を厳選し、薄くて丈夫なものにしました。</p>	①～⑤教科書全体
	環境やアレルギーに対する配慮がされているか。	①環境に配慮した紙や植物油インキを使用し、自然環境やシックスクールなどにも配慮しました。	①教科書全体
9 デジタル教科書	授業の流れを止めない配慮がされているか。	<p>①SSO（シングルサインオン）機能を搭載し、ワンタップ操作でログインできることにより、ストレスなく使い始められる設計にしています。</p> <p>②デジタル教科書ビューア（表示システム）とコンテンツの徹底的な軽量化を実施し、低速度回線下においても高速軽快な動作を実現しています。</p> <p>③「オフラインモード」機能を搭載し、紙面を端末にダウンロードすることができます。事前に必要な部分を読み込んでおくことで、課外学習等や通信障害などの場面においても生徒の学習権を保障できています。</p>	<p>①ログイン画面</p> <p>②ページめくりやページジャンプ、紙面操作、動画を含むコンテンツ操作など、全体的に配慮</p> <p>③デジタル教科書全体</p>
	生徒や教師が使う上で迷わない配慮がされているか。	①文部科学省の定める標準仕様による「ナビメニュー」を搭載しています。	①デジタル教科書全体
	特別支援教育に配慮されているか。	<p>①ビューアのツールボタンは「アイコンとテキスト」という構成にし、より多くのユーザーにとっての分かりやすさに配慮しています。</p> <div data-bbox="810 1308 1107 1402" style="text-align: center;">  </div> <p>②ビューアに表示されるテキストは、ユニバーサルデザインフォント、かつ学参に対応している書体を選定することで、読みやすさに配慮しています。</p> <p>③総ルビ、読み上げ、色反転、リフロー、という特別支援機能を搭載しています。生徒の個性に合わせて教科書をカスタマイズできます。</p> <p>④外国にルーツを持つ生徒の学習支援のため、13カ国語のAI翻訳により、読み上げとリフローを多言語化しています。（多言語対応版、学習者用＋教材に搭載）</p>	<p>①デジタル教科書全体</p> <p>②デジタル教科書全体</p> <p>③デジタル教科書全体</p> <p>④デジタル教科書全体</p>
	主体的・対話的で深い学びを実現する配慮はされているか。	<p>①ペンツールを使って簡単に書いたり、教科書への書き込みを繰り返したりすることで思考を可視化できます。</p> <p>②付箋ツールでメモを残したり、重要な箇所を隠して穴埋め問題を作ったり取り組んだりすることで、学習の理解が深まり、定着を図ることができます。</p> <p>③紙面の画像を切り取ってノートツールに貼ったり、ペンツールやキーボード入力で書き込んだりすることで、自分だけのデジタルノートを主体的に作ることができます。</p>	<p>①デジタル教科書全体</p> <p>②デジタル教科書全体</p> <p>③デジタル教科書全体</p>

項目	観点	特色	具体例
9 デジタル教科書		<p>④ 指導者用デジタル教科書と学習者用デジタル教科書+教材の連携機能により、生徒が問題に取り組んだり考えを書き込んだりした画面を先生に提出することができます。先生は送られた画面を一覧表示や抽出表示で共有することで、生徒どうしの対話を促すことができます。</p> <p>⑤ 作図や、水を使った体積の比較などの操作場面を、丁寧に動画で解説しています。指導者用では拡大掲示により内容を共有し、学習者用では生徒一人ひとりのペースで閲覧することで、理解を深めます。</p> <p>⑥ 例・例題は音声付きの説明が搭載され、支援が必要な生徒や授業を欠席した生徒の学習に役立ちます。</p> <p>⑦ 計算問題などの正誤判定機能を、学習者用デジタル教科書に搭載しています。これにより、これまで発生していた先生のアナログ採点を待つ時間を削減でき、授業時間をさらに有意義に使うことができます。</p> <p>⑧ 学習者用デジタル教科書+教材の正誤情報は、指導者用デジタル教科書でモニターすることができます。学習到達度を一覧で把握することにより、先生は生徒のニーズに合ったサポートを進めることができます。</p>	<p>④ 指導者用デジタル教科書と学習者用デジタル教科書+教材の連携機能</p> <p>⑤ 動画コンテンツ</p> <p>⑥ 例・例題コンテンツ</p> <p>⑦ 正誤判定機能</p> <p>⑧ 正誤判定機能</p>
	先生の働き方改革に配慮はされているか。	<p>① 指導者用デジタル教科書の拡大掲示によって拡大印刷の手間を削減できたり、学習者用デジタル教科書のコンテンツにより教材作成の手間を削減できたりするなど、授業準備を効率化することができます。</p> <p>② 生徒が提出した問題に取り組んだ画面を指導者用で一括管理し、評価に役立てることができます。</p> <p>③ 計算問題の正誤判定機能により、先生の採点時間を大幅に削減することができます。</p>	<p>① デジタル教科書全体</p> <p>② 指導者用デジタル教科書と学習者用デジタル教科書+教材の連携機能</p> <p>③ 正誤判定機能</p>
	利用実態を把握できるよう配慮はされているか。	① デジタル教科書へのアクセス情報を含むログデータを解析し、 結果をグラフや表などで提示する「Analytics機能」 を搭載しています。	① デジタル教科書全体

項目	観点	特色	具体例
教育基本法（第二条）との関連	第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	数学における基礎・基本を身につけるとともに、数学が日常生活に深く関わっていることや、自然現象の解明に大きく役立っていること、さらに数学の発展の歴史などの話題を豊富に取り上げ、個性や習熟度に応じた学習ができるようにしました。	<ul style="list-style-type: none"> ●[数学が日常生活に深く] 全体的に配慮 ●[自然現象の解明] 1年 p.162、2年 p.209、3年 p.74～75、77、243 ●[数学の発展の歴史] 1年 p.270、272、2年 p.207、210、3年 p.76、100、242、246
		建築物の造形や芸術作品のすばらしさ、身近な現象について数学的な視点から考えたり、点字の発明や音楽と数学の関係を紹介するなど、豊かな情操を培う話題を取り上げました。	<ul style="list-style-type: none"> ●[建築物の造形と芸術作品] 1年 p.200、202、203、2年 巻末2・3、3年 p.175、239、252 ●[点字の発明] 2年 p.213 ●[音楽と数学] 3年 p.253
	第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	学習の進め方や話し合いのしかた、ノートづくり方、研究のしかた、レポートの書き方などを示し、互いの意見を尊重しながら議論したり自主的に結論を導いたりするなどの学習を重視しました。	<ul style="list-style-type: none"> ●[学習の進め方や話し合いのしかた] 各学年 p.7～9 ●[ノートの作り方] 各学年 p.11 ●[研究のしかた] 各学年 p.10 ●[レポートの書き方] 1年 p.99、259、2年 p.133、3年 p.100
		数学で学んだ知識が社会生活や自分の職業などに生かされている具体例を、実社会で活躍する人物からのメッセージとして紹介し、自らの学習と日常生活や社会との関連について実感をもてるようにしました。	<ul style="list-style-type: none"> ●1年 p.65、163、200、263、2年 p.39、97、167、181、3年 p.77、135、175、235、249
	第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	生徒どうして話し合いをしたり、活動したりする場面を示し、男女の平等、自他の協力を重んずる精神を養えるようにしました。	<ul style="list-style-type: none"> ●1年 p.239、2年 p.56、182、3年 p.78～79
		数学の知識を活用して活躍する社会人を紹介したり、数学が社会の発展に関わってきたことを紹介したりして、数学を通して社会の形成や発展に寄与できることがわかるようにしました。	<ul style="list-style-type: none"> ●1年 p.65、274、276、2年 p.39、60、208、3年 p.77、218、219、233、234、247、248 ほか
	第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	自然環境への影響や電気エネルギー、地球の温暖化、野生動物の生息数の調査の話題を取り上げ、それらの保全の大切さを考えられるようにしました。	<ul style="list-style-type: none"> ●[自動車の燃費] 1年 p.256～257 ●[フード・マイレージ] 1年 p.273 ●[電気エネルギー] 2年 p.96 ●[地球の温暖化] 2年 p.168～169 ●[ソーラークッカー] 3年 p.113 ●[野生生物] 3年 p.231、235
	第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	数学に関わって我が国の伝統を紹介したり、学習に関連する全国各地の写真を取り上げたりして、伝統や文化、郷土への関心を高め、それらを尊重する心情を養えるようにしました。	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年口絵①、②1年 p.190、214、271、277、巻末1、2年 p.58、65、89、3年 p.136、245、250、251 ほか
		数学史上で大きな貢献をした世界の数学者を取り上げたり、他国における数学の歴史や文化などを紹介したりして、国際的な視野を育むとともに、国際社会の発展に寄与する態度を養えるようにしました。	<ul style="list-style-type: none"> ●1年 p.270、272、巻末2、2年 p.210、3年 p.101、242、243 ほか